

令和 年度 「高等学校 現代社会 新訂版」 (35・清水・現社316) シラバス案						
教科	公民科	単位数	2 単位	学科		学年／学級

●学習の目標と評価基準

学習の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・人間の尊重と科学的な探究の精神に基づいて、広い視野に立って、現代の社会と人間についての理解を深める。 ・現代社会の基本的な問題について、主体的に考察し公正に判断する力を培う。 ・社会の在り方を考察する基盤として、幸福、正義、公正などの観点を身に付ける。 ・人間としての在り方生き方について考察する力の基礎を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を培う。
使用教科書／教材	高等学校公民科 「高等学校 現代社会 新訂版」 (35・清水・現社316)

科目の評価の観点			
【関心・意欲・態度】	【思考・判断・表現】	【資料活用の技能】	【知識・理解】
現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に対する関心を高め、意欲的に課題を追究するとともに、社会的事象を総合的に考察しようとする態度と平和で民主的なよりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、現代社会に生きる人間としての在り方生き方について自覚を深めようとする。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見だし、社会的事象の本質や人間としての在り方生き方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を様々なメディアを通して収集し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用して学び方を身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方に関わる基本的な事柄や、学び方を理解し、その知識を身に付けている。

●学習の計画と評価の方法

月	配当時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
4月	7時間	第1編 現代社会における諸課題	(1) 環境(地球環境問題) (2) 環境(資源・エネルギー問題) (3) 生命 (4) 情報	<ul style="list-style-type: none"> ・地球規模で広がるさまざまな環境問題の原因や対策について考えさせる。 ・日本と世界のエネルギーの現状と課題について理解させ、今後のエネルギー政策のあり方について考えさせる。 ・代理出産、クローン技術、臓器移植などを通じて、生と死における倫理的課題や個人の尊厳について考えさせる。 ・高度情報社会が人々に利便性をもたらす一方、さまざまな問題も引き起こしていることを理解させる。 ・大量に情報が氾濫する現代社会において、どのように情報を取捨選択し、適切に判断すべきかを考えさせる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、プレゼンテーション 【知理】小テスト
第1章 青年期と自己の形成（11時間）					
5月	3時間		1 青年と自己実現 (1) 青年期とはどういう時期なのだろう (2) 現代社会と青年期の生き方 (3) はたらくこと、社会とかわかること	<ul style="list-style-type: none"> ・青年期の特徴について、主に心理学的視点から自分のおかれている状況を理解させる。 ・青年期が延長されている現状を把握し、モラトリアムの意味と問題点を考えさせる。 ・現代社会の雇用の現状と課題を把握し、共生社会における働き方について考える。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、討論 【知理】【思判表】定期テスト
	8時間		2 よりよく生きることを求めて (1) 哲学と思想 (2) 信仰と世界の三大宗教 (3) 近代への歩み (4) 近代社会を生きる (5) 近代理性への批判 (6) 日本の生活文化 (7) 日本の伝統思想 【課題学習】「自分探し」って何だろう	<ul style="list-style-type: none"> ・先人の生き方や考え方を学び、豊かな人生とはどのようなものか考える。 ・世界宗教となった宗教のそれぞれの特色を知り、共通するものを理解させる。 ・近代ヨーロッパの自然観、人生観の歩みについて理解させる。 ・近代ヨーロッパの歴史や社会の変化の中であらわれた思想を理解させる。 ・20世紀に入り、近代ヨーロッパの理性中心の考え方に対してあらわれた新たな人間観について理解させる。 ・身の回りのものと関連づけながら、日本の生活文化や伝統文化について理解する。 	

月	配当 時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
				<ul style="list-style-type: none"> 日本の仏教や儒教がどのように変容し、さらに近代日本ではどのような思想が展開したのか理解させる。 	

月	配当時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
6月	13時間	第2編	第2章 現代の民主政治と政治参加の意義（16時間）		
7月			1 民主政治の基本原則 (1) 基本的人権の保障 (2) 日本国憲法の成立と三大原則 (3) 日本国憲法の国民主権と天皇制 (4) 日本国憲法の人権保障-平等権と自由権 (5) 日本国憲法の人権保障-社会権 (6) 日本国憲法の人権保障-政治に参加する権利と新しい人権 (7) 国の法律・政策を決める国会 (8) 国の具体的な政治を行う内閣 (9) 人権と法を守る裁判所 (10) 日本の平和主義	<ul style="list-style-type: none"> 基本的人権が、どのような歴史を経て獲得されたかを理解させる。 日本国憲法と大日本帝国憲法との比較から相違点を考えさせる。また日本国憲法の三大原則を理解させる。 日本国憲法の国民主権について理解させ、象徴天皇制のあり方について考えさせる。 日本国憲法にある人権保障の中で、平等権と自由権について理解させる。 日本国憲法の保障する社会権と自由権との違いを理解させる。 日本国憲法の保障する参政権と請願権について知り、新しい人権とは何かについて考えさせる。 国会のしくみと働きについて理解させる。 議院内閣制のしくみと特徴について理解させ、行政権の拡大の問題点について把握させる。 裁判所の役割としくみについて理解させ、司法権の独立の意義について考えさせる。 日本の平和主義について第9条と自衛隊との関連をもとに考えさせる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、課題レポート【知理】小テスト
9月	3時間	第2編 現代社会のあり方と私たちの生き方（61時間）	2 国民の政治参加と地方自治 (1) 地方自治-住民の政治参加 (2) 政党政治と選挙 (3) マスメディアの役割と世論の形成 [課題学習]選挙制度と平等	<ul style="list-style-type: none"> 地方自治の意味や役割、および地方自治の新たな動きについて理解させる。 政党の役割を知り、選挙のしくみや課題について理解させる。 マスメディアと世論の関わりを理解させ、民主政治に与える影響について考えさせる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、課題レポート 【知理】【思判表】定期テスト
10月	4時間		第3章 個人の尊厳と法の支配（7時間）		
			1 個人の尊厳と法 (1) 個人の尊厳と自由、責任 (2) 個人と社会 (3) 法の意義と役割 (4) 開かれた司法制度に向けて	<ul style="list-style-type: none"> 自由と責任のかかわりについて、先人の思想を踏まえながら考えさせる。 社会契約説から、国民がいかに政治にかかわっていくべきかを考えさせる。 生活を送るうえで守らなければならないルールの意義について考えさせる。 司法制度改革の背景と内容を理解し、市民として裁判員制度にどのように関わるべきかを考えさせる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、討論【知理】小テスト
	3時間		2 民主社会と倫理 (1) 生命はかけがえない価値をもつ (2) 差別のない世界へ (3) 公正な社会の実現をめざして [課題学習] 病者への差別・排除の超克	<ul style="list-style-type: none"> 生命に対する尊重と畏敬の精神を持たせるとともに、科学技術の発達にともなう倫理的課題について考えさせる。 人間の尊厳と誰しも平等であることを理解させ、差別のない社会に向けて何ができるかを考えさせる。 公平な社会のあり方を、正義や共生という概念を理解させながら考えさせる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、プレゼンテーション 【知理】小テスト
11月	9時間	第4編	第4章 現代の経済社会と経済活動のあり方（14時間）		
			1 現代の経済社会 (1) 経済主体と経済循環 (2) 景気変動と物価 (3) 経済規模と経済成長 (4) 戦後の日本経済の復興と民主化政策 (5) 企業の役割とはたらき (6) 租税のしくみと財政政策 (7) 金融機関と金融政策	<ul style="list-style-type: none"> 市場メカニズムなど経済の基礎的なしくみと概念について理解させる。 景気や物価の変動の原因を理解させる。 GDPやGNIなど国の経済をはかる「ものさし」について理解させる。 戦後の日本経済の歴史的過程について理解させる。 企業の役割とはたらきについて理解させる。 財政と租税のしくみと機能について理解させる。 金融のしくみと役割を理解させ、金融の自由化の現状について考えさせる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、課題レポート 【知理】【思判表】定期テスト

月	配当時間	編	学習内容（目次）	学習のねらい（目標）	評価の方法
1 2月	5時間		2 経済活動のあり方 (1) 社会保障制度の役割と課題 (2) いま、どんな労働問題があるのだろうか？ (3) 環境を守るために (4) 私たちの安全な食物と日本の農業 (5) 消費者と企業－私たち一人ひとりの責任 [課題学習]就職について考える	<ul style="list-style-type: none"> 社会保障制度の歴史的経過を把握させ、制度の内容と課題について理解させる。 日本型雇用慣行および労働者をめぐる状況の変化について理解させる。 公害の歴史と、それに対する政府や企業の取り組みを理解させ、自分たちにできることを考えさせる。 日本の食料の現状を理解させ、これからの食と農業のあり方について考えさせる。 消費者の権利を理解させ、かしこい消費者になるためにはどのように行動すべきかを考えさせる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、課題レポート【知理】小テスト
1月	9時間		第5章 国際社会の動向と日本の果たすべき役割（13時間）		
			1 国際社会の動向 (1) グローバリゼーションと国際社会 (2) 冷戦のはじまりと世界の動き (3) 国際収支と為替相場 (4) 経済のグローバル化とリージョナリズム (5) 国際経済における諸課題 (6) 冷戦後の世界－紛争の解決に向けて－ (7) 核兵器と軍縮の問題 (8) 国際連合と国際平和	<ul style="list-style-type: none"> 国際社会の成り立ちと、近年のグローバル化について理解させる。 第二次世界大戦後、世界の体制はどのような展開をしたのかを理解させる。 国際収支のしくみと、為替相場の変動要因と社会に与える影響について理解させる。 経済のグローバル化の問題点を理解させ、リージョナリズムの進展について考えさせる。 南北問題の解決に向けてできることは何かを考えさせる。 冷戦後の世界における紛争の現状と背景について理解させる。 核の脅威から解放するには、不断の努力が必要であることを理解させる。 国際平和をめざす国連の活動について理解させる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、討論【知理】小テスト
2月	4時間		2 国際社会と日本 (1) 日本の安全保障と平和維持活動 (2) 日本と世界のつながり (3) 私たちの国際協力 [課題学習]自給自足の生活・文化を考える	<ul style="list-style-type: none"> 冷戦後の国際情勢の変化を理解させ、日本のとるべき進路について考えさせる。 グローバル化する日本と世界の現状を理解させ、共生社会の実現に向けて考えさせる。 国際協力の現状を理解し、真の国際協力をめざすにはどうしたらよいのかを考えさせる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、課題レポート 【知理】【思判表】定期テスト
3月	2時間	第3編 社会をめざしてともに生きる	○先進国と発展途上国 ○財政から考える現役世代と将来世代 ○臓器移植を考える	<ul style="list-style-type: none"> 社会と社会の関係に着目させ、経済格差の問題をどのように調整すれば望ましい解決になるのかを考察させる。 現役世代と将来世代の関係に着目させ、国債残高の負担とそれぞれの幸福の調和について考察させる。 個人と社会の関係に着目させ、社会の維持発展のために自らが社会とどのように関わるかを考察させる。 	【関意】【思判表】 【技】ワークシート、ランキング、小論文、構想図